

さぶりめんと

2013-Mar.

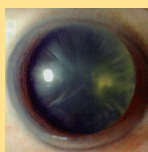
No.24

白内障

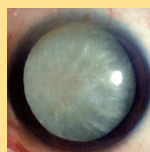
眼科 南 高正

白内障とは、眼の中のレンズ(水晶体)が白く濁ったために、外からの光が眼の内に十分入らなくなった結果、物が見えにくくなる病気です。原因は主に加齢性的変化です。

白内障の水晶体の様子



軽度白内障



重度白内障

症 状

- ✓ 視力低下
- ✓ まぶしい
- ✓ 霧がかかって見える
- ✓ 物が二重に見える

治療には、点眼薬と手術があります。点眼薬は進行をある程度遅らせるだけで、視力を取り戻すには手術以外にはありません。

白内障の手術について

現在は超音波による水晶体摘出術が確立したため、局所麻酔で約2.8mmの創口、手術時間は軽度の場合で10～15分と短く、痛みなどでつらい思いをすることなく受けることができます。

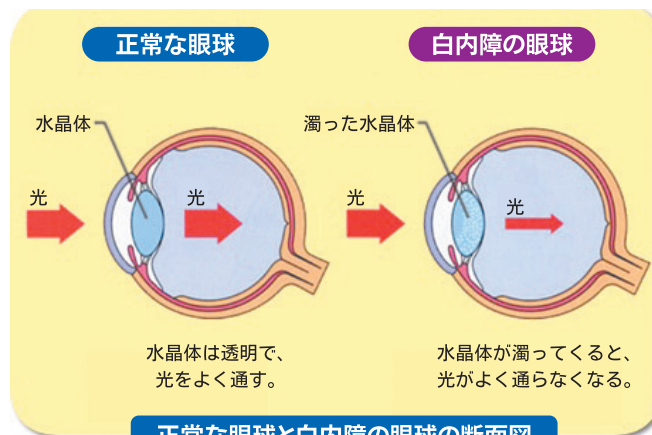
手術時期 不快さや不便さを感じられたら、手術をお勧めします。一般的には時期が早い方が痛みのない、安全な手術を行いやすく、合併症の発生率は低くなります。進行しすぎた場合には手術時間が長くなることが多く、最新の術式を採用できなくなることがあります。

また放置したままにすると、緑内障発作、水晶体の脱臼、落下がおこり、手遅れになることもあります。

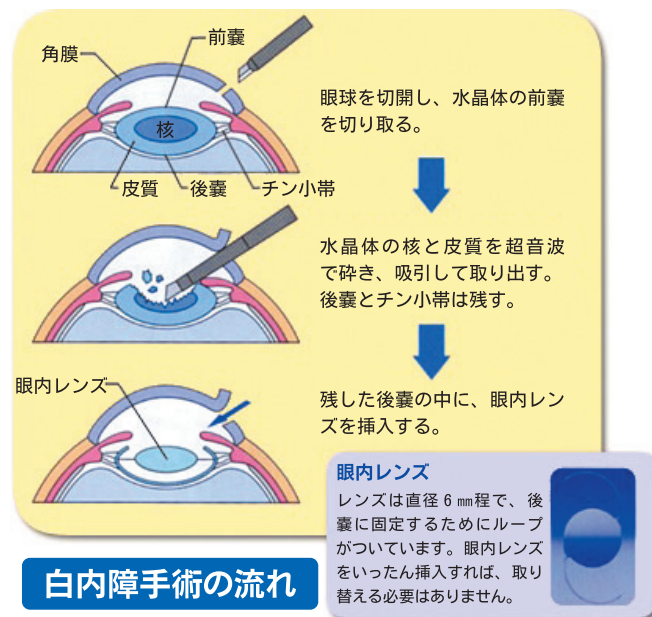
入院期間 片目で2泊3日(1泊も可能)、両眼であれば約1週間です。

合併症 ごくまれですが、感染症などが起こること(0.05%)があります。

手術後の生活 洗顔、洗髪は術後約1週間できませんが(美容院などで上を向いて行うことは可能)、それ以外の日常生活については特に問題はなく、テレビや読書は翌日から可能です。



正常な眼球と白内障の眼球の断面図



白内障手術の流れ

眼内レンズ

レンズは直径6mm程で、後嚢に固定するためにループがついています。眼内レンズをいったん挿入すれば、取り替える必要はありません。



関西ろうさい病院 眼科では、白内障の診断、手術を専門としています。(年間約800件)
上記のような症状が当てはまる場合には、気軽に受診して下さい。



理念

基本方針

●● 良質な医療を働く人々に、地域の人々に、そして世界の人々のために ●●

- ・私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」の中核的役割を担ってこれを推進します。
- ・私たちは、急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
- ・私たちは、患者様の権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実に励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
- ・私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
- ・私たちは、病院使命の効果的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。



イメージキャラクター
がれろっこ

さぶりめんと

2013-Mar.

No. 24

皮膚がんは増えている

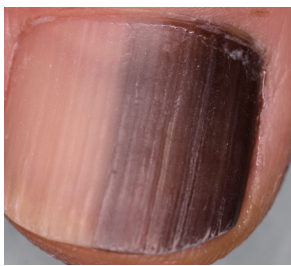
皮膚科 福山 國太郎

皮膚がんは、肺がんや胃がんに比べるとなじみが少ないため、患者さんによっては「皮膚にもがんができるのですか」と言われる方もいるほどですが、高齢化や紫外線の影響などからか、皮膚がんの発生率は年々増えていきます。1985年から2002年の間に約20%も増加しており、将来はさらに増えると予想されます。

皮膚がん検診のすすめ

がん治療では早期発見、早期治療が何よりも大切です。皮膚がんは臓器にできるがん違って目で見る事ができるため、皮膚がんの症状さえ知っていれば、自分で発見することも可能です。早期の皮膚がんであれば、治療は非常に簡単にすみますので、ぜひ皮膚の自己チェックをしてみましょう。

皮膚がんを疑う症状は、黒いものと、黒くないものにわけて考えるとわかりやすいと思います。黒いものの代表は「**悪性黒色腫**」いわゆる「**ほくろのがん**」で、最もよく知られた皮膚がんです。全身どこにでもできますが、顔面と爪、足底にできることが多いです。



初期の爪部悪性黒色腫



足底の悪性黒色腫



鼻の悪性黒色腫

CHECK!

悪性黒色腫のチェックポイント

- ☒ 左右対称でない
- ☒ 辺縁が不整
- ☒ 色むらがある
- ☒ 直径6mm以上

アメリカがん学会

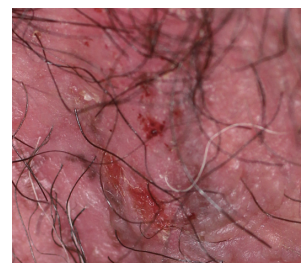
CHECK



もう一つは「**基底細胞がん**」という黒いがんがあります。症状は悪性黒色腫とほぼ同じです。このがんは顔面に多く、**表面に光沢をもっていて出血することが多い**のが特徴です。

一方、黒くないがんは、顔面手背に多い「**日光角化症**」、体幹に多い「**ボーエン病**」、陰部に多い「**乳房外パジェット病**」が代表的です。共通するのは**一見湿疹のよう**に見えることです。薬をつけても全く大きさが変化しなかったり、年単位で続いて徐々に大きくなったりする湿疹は皮膚科専門医に診てもらいましょう。

また、盛り上がった腫瘍では色調に関係なく、もともと上記のような初期のがん症状があったところに生じて**急速に大きくなったり、出血したり、形が球形でなくいびつ**である場合などは注意が必要です。初期のがんは盛り上がっていないものが多く、腫瘍と思われていないことも多いのですが、上記の症状に当てはまったら迷わず皮膚科を受診してください。



男性の外陰部に生じた乳房外パジェット病

気になる症状があれば、
皮膚科専門医にご相談ください。

独立行政法人 労働者健康福祉機構 **関西ろうさい病院**

尼崎市稲葉荘3-1-69 TEL 06-6416-1221(代)

HP <http://www.kanrou.net/>携帯版HP <http://kanrou-mobile.jp/>ブログ <http://kanrou.blog106.fc2.com/>

発行人 林 紀夫

編集人 堤 圭介

